

研修のお申込み

定員 30 名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せて FAX または 郵送 で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記 URL よりダウンロードしてください。

http://www.npo-jam.org/rirekisho/

応募締切は 2019 年 1 月 21 日 (月) 必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を 1 月 25 日までにメール (または FAX) にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。

お問い合わせ・お申込みは……

特定非営利活動法人
メンタルケア協議会
Japanese Association of Mental Health Services
東京都渋谷区代々木 1-57-4 ドルミ第 2 代々木 2 階
TEL : 03 (5333) 6446 FAX : 03 (5333) 6445

東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2019年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン～」を平成 22 年 4 月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員 (非常勤) を育成するための研修を下記のように行います。この研修を受講できるのは、平成 31(2019) 年度から電話相談員 (非常勤) として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2019 (平成 31) 年度に相談員 (非常勤) として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎ 修了証の発行

必修項目を含む 8 単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場ご案内

講義とグループロールプレイは下記のいずれかで実施します

全理連ビル (代々木) 9F 会議室

東京都渋谷区代々木 1-36-4

- 代々木駅北口 徒歩 1 分
(1F がマクドナルドのビルです)

TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4B

東京都新宿区西新宿 1-14-11 日廣ビル 4F

- 新宿駅西口 徒歩 10 分
(1F が docomo ショップ新宿西口のビルです)

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人メンタルケア協議会

参加登録制
定員 30 名
参加費不要

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前

年齢 歳 性別 男 ・ 女

ご住所

電話番号 FAX 番号

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを)
@

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール (および添付ファイル) でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2019 年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※ 土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※ 勤務時間帯は [A]13:30 ~ 18:30、[B]18:00 ~ 22:30、[C]22:00 ~ 翌 6:00 です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■ 現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

■ 必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。
人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただき、受講票に記載してお知らせいたします。

研修内容	実施日/場所	時	必修	参加	単位	
講義	①電話相談の基本と、子どもの自殺について	1/26 (土) 全理連ビル 9F C 室	12:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	②性の問題、風俗で働くこと、生きる力を考える	1/27 (日) 全理連ビル 9F C 室	12:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	③精神疾患の基本と自殺問題、向精神薬の基本～過量服薬	2/3 (日) TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4B	12:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
グループロールプレイ	①自殺リスクアセスメントと自殺に関連する相談	2/11 (月・祝) 全理連ビル 9F C 室	13:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	②他機関へ繋ぐ	2/24 (日) TKP 新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム 4B 3/23 (土) 全理連ビル 9F C 室	13:00 ~ 18:00	必修	可・不可	1
	③相談を受けとめる	3/21 (木・祝) 全理連ビル 9F C 室 3/24 (日) 全理連ビル 9F C 室	13:00 ~ 18:30	必修	可・不可	1
現場研修	①東京夜間こころの電話相談	2/7(木)・2/8(金)・2/10(日)・2/14(木) 2/18(月)・2/20(水)・2/26(火)・3/2(土) 相談室	18:00 ~ 21:00	必修	可・不可	1
	②精神科救急医療情報センター	3/3(日)・3/9(土)・3/12(火)・3/15(金) 相談室	18:00 ~ 21:00	選択	希望する	1
	③訪問看護ステーション	2/15(金)・2/19(火)・3/4(月)・3/14(木) ステーション訪問対象者宅	9:00 ~ 15:00	選択	希望する	1
	④東京ダルク	2/21(木)・2/22(金)・2/27(水)・3/5(火) 3/8(金)・3/13(水) 東京ダルク	水 13:00-15:30 他 10:00-12:00	選択	希望する	1



研修日程

研修内容	研修テーマ	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師
I. 基礎知識 習得のための 講義 各1単位 すべて必修	①『電話相談の基本と、 子どもの自殺について』 ～演習や関連事例検討を含む～	1/26 (土) 全理連ビル 9FC 室	12:00 - 13:30	開講式 講義 1 電話相談の基本	羽藤 邦利 西村 由紀
			13:40 - 15:30	講義 2 電話相談の基本演習 (グループワークやロールプレイ)	
			15:40 - 16:50	講義 3 子どもの自殺について	羽藤 邦利
			16:50 - 17:00	質疑応答	
			17:00 - 18:00	関連事例検討	
	②『性の問題、風俗で働くこと、 生きる力を考える』 ～自殺相談の関連事例検討を含む～	1/27 (日) 全理連ビル 9FC 室	12:00 - 13:30	講義 1 若者の性事情とコミュニケーションについて	岩室 紳也
			13:40 - 13:50	質疑応答	
			13:50 - 15:40	講義 2 風テラスの相談から見えてくること	安井 飛鳥 橋本 久美子
			15:50 - 16:00	質疑応答	
			16:00 - 16:30	講義 3 行政の関わりから見た風俗街(仮)	松本 加代
	16:30 - 18:00	関連事例検討			
	③『精神疾患の基本と自殺問題、 向精神薬の基本～過量服薬』	2/3 (日) TKP 新宿カファリスセンター 4B	12:00 - 14:00	講義 1 統合失調症～気分障害、 その他代表的な精神疾患とその治療薬について	稲垣 中
14:15 - 15:45			講義 2 児童思春期に認められる発達障害と 精神疾患及びその治療薬		
16:00 - 16:20			質疑応答	大下 隆司	
16:20 - 18:00			関連事例検討		
II. グループ ロール プレイ 各1単位 すべて必修	①自殺リスクアセスメントと 自殺に関連する相談 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/11 (月・祝) 全理連ビル 9FC 室	13:00 - 18:00		未遂相談員 西村・大神 西森・大久保 高橋(美)
	②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	2/24 (日) TKP 新宿カファリスセンター 4B 3/23 (土) 全理連ビル 9FC 室	13:00 - 18:00	※ のどちらか一日に参加	荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀
	③相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)	3/21(木・祝) 全理連ビル 9FC 室 3/24(日) 全理連ビル 9FC 室	13:00 - 18:00	※ のどちらか一日に参加	内藤 武 西村 由紀
III. 現場研修 各1単位 ①は必修、 ②～④は 選択	①東京夜間こころの電話相談	2/7(木)・2/8(金)・2/10(日) 2/14(木)・2/18(月)・2/20(水) 2/26(火)・3/2(土) 相談室	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本(レクチャー) 相談の陪席 (いずれか1日に参加)	荒井 澄子 國吉 淨子
	②東京都精神科救急医療 情報センター	3/3(日)・3/9(土) 3/12(火)・3/15(金) 相談室	18:00 - 21:00	センター業務の説明、相談の陪席、 精神科救急対応の基本(レクチャー) (いずれか1日に参加)	救急相談員 西村・永島 山城
	③多摩在宅支援センター卵 (訪問看護ステーション)	2/15(金)・2/19(火) 3/4(月)・3/14(木) ステーション訪問対象者宅	9:00 - 15:00	訪問看護の実態について(レクチャー) 訪問の同行 (いずれか1日に参加)	寺田 悦子 他
	④東京ダルク	2/21(木)・2/22(金)・2/27(水) 3/5(火)・3/8(金)・3/13(水) 東京ダルク	水曜日 13:00-15:30 他 10:00-12:00	ダルクの活動について(レクチャー) 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加)	幸田 実 他
	⑤自殺相談ダイヤル	3月下旬(全4回)	13:00 - 19:00	※次年度採用予定の方のみ。	西村 由紀

※現場研修の研修場所については、1/26 に資料を配布いたします。

講師・団体紹介 (50音順)

荒井 澄子 (あらい・すみこ)

メンタルケア協議会理事／元南多摩保健所／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所)など。

稲垣 中 (いながき・あたる)

メンタルケア協議会理事／青山学院大学教育人間科学部教授／1992年慶應義塾大学医学部卒業。山梨県立北病院医師、慶應義塾大学医学部精神神経科学教室助手、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任准教授などを経て、2013年9月より現職。博士(医学)。

岩室 紳也 (いわむろ・しんや)

厚木市立病院泌尿器科／地域医療振興協会ヘルスプロモーションセンター長／1955年京都府生まれ。自治医科大学医学部を卒業後、神奈川県内の医療機関で総合医、泌尿器科医として患者の診療に当たる。その一方で、神奈川県内の保健所でエイズ予防を含めた幅広い健康づくり活動に従事。2003年より、公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長となって、全国で民間公衆衛生医として活動開始。現在も週に一日は厚木市立病院でのHIV/AIDSや泌尿器科の診療を継続。2011年の東日本大震災後は、岩手県陸前高田市地域包括ケアアドバイザー、ノーマライゼーション大使、被災地絆づくりアドバイザー、宮城県女川町健康づくりアドバイザーとして、被災地に入り続ける。さらに、中学校や高校などでエイズ予防と性教育の学校講演を、年間100回ほど行っている。

大下 隆司 (おおしも・たかし)

メンタルケア協議会副理事長／代々木の森診療所院長／神戸国際大学保健センター特命教授／東京女子医科大学児童思春期外来非常勤講師／医学博士／神戸大学医学部卒業。社会人経験後、医学部に入りなおし、精神科医となる。神戸大学医学部付属病院、都立墨東病院、明石土山病院、兵庫県中央児童相談所、東京女子医科大学病院に勤務。H24年4月より代々木の森診療所院長。

國吉 淨子 (くによし・きよこ)

メンタルケア協議会理事／元都立中部総合精神保健福祉センター／S52～東京都勤務。松沢病院。多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

幸田 実 (こうだ・みのる)

東京ダルク・ダルクホーム施設長／ダルクは薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、回復を支援する。回復していくための場、時間、回復者モデルを提供し、ナルコティクス アノニマス(NA)の12ステップに基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをし、各地の自助グループにつなげていく。

寺田 悦子 (てらだ・えつこ)

NPO法人多摩在宅支援センター円(えん)理事長／当法人は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに応えているのが特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション卵、訪問看護ステーション元(げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連(れん)がある。

内藤 武 (ないとう・たけし)

メンタルケア協議会理事／元立教大学学生相談所インテーカー／「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中(H3年～H4年)「Samaritans(自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

西村 由紀 (にしむら・ゆき)

メンタルケア協議会理事／メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤルの立ち上げに携わる。

橋本 久美子 (はしもと・くみこ)

社会福祉士／精神保健福祉士／保育士／保護司
母子生活支援施設勤務

羽藤 邦利 (はとう・くにとし)

メンタルケア協議会理事長／S42京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58代々木の森診療所開設。H2年1月より代々木の森診療所院長。H24年4月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

風テラス (ふうてらす)

一般社団法人ホワイトハンズが運営する「風俗ではたらく人のための無料生活・法律相談サービス」です。弁護士とソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が対応し、風俗の世界で働く女性の方々が、現在抱えている悩みや困難(借金、離婚、障害、病気、介護、育児、DVなどの問題)を風俗で働いているという事実を隠さずに、安心して相談できる機会を作ることが目的としています。

松本 加代 (まつもと・かよ)

医師／台東保健所健康部参事／台東保健所保健予防課長事務取扱／1993年佐賀医科大学医学部卒業。横浜市立大学研修医修了後、横浜市立大学産婦人科学教室入局し神奈川県内の医療機関で勤務。2003年東京都衛生局(現福祉保健局)採用。南多摩保健所、大田区保健所、世田谷保健所、墨田区保健所を経て2017年より現職。

安井 飛鳥 (やすい・あすか)

弁護士／社会福祉士／精神保健福祉士／弁護士法人ソーシャルワーカーズ副代表／児童相談所非常勤嘱託弁護士、社会的養護アフターケア事業所相談員等を兼務。法律と福祉の知見を活かして子ども・若者に関する相談支援に従事している。